

キャラクター名
 小黑 優助

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	刑事	カヴァー	ポリスメン
	オルクス			年齢	25歳	性別
オプション	覚醒	命令	衝動	殺戮	初期侵食率	33 %
出自	妹	経験	禁断の恋	邂逅	棟居 誠司	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	23
肉体	1	0	0			1	行動値	9
感覚	3	1	0			4	(非装備時)	9
精神	1	0	0			1	戦闘移動	14
社会	3	0	0			3	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	2	
運転:	2		芸術:			知識:			情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ナイフ		0				持ってるだけ
ナイフ						持ってるだけ
ナイフ						持ってるだけ
ナイフ						持ってるだけ

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
デモンズシード	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
[17] 奇妙な隣人ストレンジネイバー	P	N		
リップパーくん	P 友情	N 憐憫		
多賀 朱美	P 純愛	N 不快感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
雨粒の矢	5	3	メジャー	視界	シーン(選択)	対決	-	
効果: 攻撃力+Lv×2								
ダンシングシミター	4	4	メジャー	視界	-	対決	-	
効果: 攻撃力+Lv×3								
ソードマスター	3	3	セット	至近	単体	自動	-	
効果: 対象の攻撃の達成値+Lv×3								
オリジン:レジェンド	5	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: シーン間精神判定+Lv×2								
サイドリール	1							
効果: 射撃攻撃の達成値+3、攻撃力+1D								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「ジャック・ザ・リップパーの怪異譚」を起源とするレネゲイドビーイングを宿す刑事。宿っているのは決して「ジャック・ザ・リップパー」本人ではない。幼い頃、仲睦まじかった妹を無差別殺人によってなくしており、その時から二度とこのような犠牲を出さないために警察官を志してさおの夢を叶えた現在に至る。妹のことは決して忘れず、しかしながら腐ることなく生き抜くことを信条としており、鮮烈な過去の裏返しなのか非常にノリが軽い。あまり深く物事を考えることがなく、とりあえず身体を動かしてから考えるといった性格で人たらしのオモ相まって友が多い。そんな彼だからこそUGNからの「レネゲイドビーイングを人為的に憑依させることで意図的にオーヴァードを作り出す。R担の戦力増強にも大いに貢献できる」というきな臭い徴兵に間も置かず立候補し、何の因果か「殺人鬼」にゆかりをもつレネゲイドビーイングの協力のもと、オーヴァードの世界に足を踏み入れることとなる。

「ジャック・ザ・リップパーの怪異譚」を起源とするレネゲイドビーイング、通称リップパーくんとは出会って34秒で打ち解けており、いまだき若者らしい適度な能天気さと世間に対する諦観具合などが非常に似通っており、共生型のレネゲイドビーイングというよりは上京してきた親友同士でシェアハウスをしているといった関係性に近い。そして彼らは、R担のお仕事をこなす傍ら、彼らそれぞれの目的を果たすために互いが互いに協力し合っている。

リップパーくんの目的は「ジャック・ザ・リップパーの正体を見つけ出す」ことである。様々な憶測と妄執が肥大化して生まれたリップパーくんは怪異としてジャック・ザ・リップパーよりもある意味恐ろしい存在であるのかもしれないが、そんなことは些末。彼にとって、彼の生みの親、もとい本物の自分の正体こそが憧れの対象であり、その正体だけでも知りえることを悲願としている。そして、優助本人の目標は「人を殺すという心理について、深い理解を得る」ことである。妹を殺した殺人犯を恨んでいるわけではない。ただ、そのようなおぞましい行為に駆り立てる心情が、理解できないのだ。凶行に臨んだ精神をきちんと理解できた時に初めて、あの無差別殺人鬼を赦せる気がする。そのためには……彼の相棒に本物の殺人鬼に近づいてもらう必要がある。この目的こそが、彼が彼の相棒に協力する理由であり、彼の生きる理由の一つである。